Part2 携帯とPCの中間領域" MID "の可能性を探る

顕在化する「数億台」市場

携帯 / スマートフォンとネットブックの中間にある未開拓領域が、急速に その姿を表してきた。「世界で数億台」とも目されるこの新市場で今、何が 起こっているのだろうか。 文 坪田弘樹(本誌)

いつでもどこでもインターネットに 接続し情報を得て、さまざまなサー ビスを利用する。我々がそうした欲 求を満たすための選択肢は、ほんの 数年前まで携帯電話 / PHS、スマー トフォンとノートPCに限られていた。

だが今、その中間領域に熱い視線 が注がれている。扉を開いたのはネ ットブックだ。ノートPCユーザーのみ ならず、「画面が小さい」「入力・編集 に手間がかかる」など電話端末に不 満を抱えていた人たちを取り込めた ことも、瞬く間にPC市場を席巻する までに成長した要因だろう。

ネットブックの成功は、それまでお ぼろげにしか見えていなかった電話 端末とPCの中間市場を鮮やかに照 らし出した。確かな感触を胸に、こ の新大陸へと数多のプレイヤーが乗 り込んできている。

「4~10インチ」に眠る鉱脈

おそらくは、この領域を世界で初 めて具体的に表現したのは、インテ ルの「MID(Mobile Internet Device)」だろう。それまでノート PC向けが中心だった同社のモバイ ル戦略の転換を示すこの言葉から、

本稿をスタートしよう。

さて、インテルが狙うMID市場と は、具体的にどのようなものか。同 社マーケティング本部モバイルインタ ーネット・コンシューマ・エレクトロニ クス・マーケティング部長の佐藤有紀 子氏は、「ゼロから立ち上がる市場 ではなく、既存の端末・サービス市 場の代替を含むもの」と説明する。

具体的には、ポータブルなゲーム 機やビデオプレイヤー、簡易型カー ナビ(PND)等のGPS内蔵端末、フィ ールドワーカーが用いるハンドヘルド 端末といった製品カテゴリだ。ここ に、複数の機能を集約した多機能端 末や、スマートフォン/PDAから派生 する新端末、タブレット型端末などが 加わってくる。

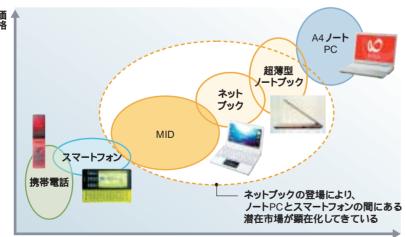
画面サイズで括れば、4~10インチ。 佐藤氏が「グローバルで数億ユニッ トのポテンシャルがあるだろう」と話 すこの市場へ、"両脇"の携帯/スマ ートフォンメーカー、PCメーカーが進 出を始めている。

先陣を切って9月に「NetWalker (PC-Z1)」を発売したシャープ、 Androidベースの新端末開発に着手 したNECの狙い、MID市場にかけ る期待から見ていこう。

「先陣」切ったシャープ

シャープの樋口氏は、NetWalker

図表2-1 広がるモバイル端末の市場



画面サイズ